



**IR担当者向け実践プログラム 第7期
第8回リアルタイム授業（最終回）**

IR192: IRプロジェクト（2）

山形大学 学術研究院 教授

藤原 宏司

2025/11/2

今日の内容

- 9:00 授業開始
- 9:10～10:45 **最終成果発表会の振り返り**
- 10:45～10:55 修業年限について by 岸根先生
- 10:55～12:05 **最終グループワーク**
テーマ：IR担当者は改善提案をすべきなのか？
- 12:05 クロージング

最終成果発表会の振り返り



最終成果発表会の振り返り

- 昨日の最終成果発表会（準備を含む）を振り返り、**各自の取り組みを総括**してください。
 - 発表や準備でうまくいった点
 - 反省点・課題に感じた点など
- あわせて、**他の学生の発表から得た学びや気づき**についても共有してください。
 - 発表方法、分析内容、伝え方、取り入れたい工夫など
- **グループのメンバー全員の発表**に対して、**建設的なクリティーク**を行いましょう。
- **グループワークはメンバーを変えて、2回**行います。

修業年限について



最終グループワーク

IR担当者は改善提案をすべきなのか？



教えてください！

- 日本で議論されている“**提案**”とは**具体的**にどのようなことなのでしょう？
- 本当に**IR担当者の職務**なのでしょう？
- **人事異動**が頻繁にある組織文化の中で、IR担当者の提案が**他部署や大学全体を動かす**ことは可能なのでしょうか？

考えてほしいこと

1. 「提案」とは**どこまでを意味する**のでしょうか？
 - a. “～した方がよい”という提案はどのくらいのレベルですか？
 - b. 個人の感想レベルを指すのでしょうか？

2. IR担当者が提案を行う場合、
 - a. **実行可能性・責任部署・人員予算措置**なども想定すべきですか？
 - b. 上記は、**IR部署の権限範囲内**と言えるのでしょうか？

3. 日本の大学のように**人事異動が頻繁な組織**で、
 - a. IR担当者の提案は、どの程度の「**持続性**」や「**実行力**」を持ち得るのでしょうか？
 - b. 組織文化として「**提案 → 実行**」までつながる現実性はあるのでしょうか？

重要なこと

IR担当者が**大学に貢献**するために
最も重要なことは何でしょうか？

実施方法

- 11:55までグループでディスカッション

- その後、代表者が以下について発表してください。
 1. IR担当者が提案をすべき／すべきでない理由
 2. 日本において、IR担当者が大学に貢献できる現実的な方法

クロージング

